

わかやまをつくり守っています。

# わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作る「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムやていぼう、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

## 第4回 有田市立 有和中学校

みんなが通う学校を作るのも建設の大事な仕事。有田市では4つの中学校が合わさって、令和6年4月から1つの大きな学校になります。和歌山の木やみかんの皮など和歌山のものを使ったり、大きな窓からけしきが見えるよう計算したり、あちこちで有田市を感じる設計が特ちょう。地しんに強いくふうもしています。



ミカンの香りの洗面台

© Masaki Hamada / Kkpo

みかんの皮を粉にして、セメントと混ぜてカベや洗面部分にぬっています。今でも香りがのこっていますが、ぬった時にはあたりいっぱいのみかんの香りが広がっていたそうですよ！



ユニオン

わたりろうかを支える「はり」の先にゆれやしょうげきを吸収するユニオンという装置を取り付けて大きな地震が来ても建物や人を守るよう計算されています。



光いっぱい体育館

© Masaki Hamada / Kkpo

太陽の光がいっぱい体育館は、有田の山々がきれいに見えるように大きな窓を高い場所につけています

## こんなこと知ってる!?

### 渡り廊下の 不思議なデザイン、 どう作ったの？

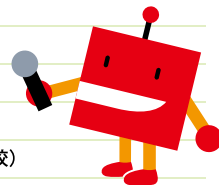


© Masaki Hamada / Kkpo

天井の木があちこちに向けたデザインのわたりろう下。デザインを行なった隈研吾さんらしい「木の建築」がわかりやすい場所です。この木の部分は、現場で少しずつ長さや角度を手直ししながら細かい部分を作っていたそうです。グラウンド側から見た時と、下を歩きながら見上げた時の見え方がちがうのもおもしろいですね！

## この人に 聞きました

すぎもとけんじ  
杉本憲司さん  
桃山町立安楽川小学校卒  
(現紀の川市立安楽川小学校)



### 「頭にあるものが立体化できるんです」

今までの学校とちがうことが多く、きぼも大きかったので鉄さんを作る人、鉄こつを作る人に電気工事や左かん屋さんなど1日100人をこえるたくさんの方が関わってくれて完成しました。教室も広く、窓が大きくてゆったり勉強ができると思います。4月から通ってくれる子たちにも、今までとちがう学校を見て、感じてほしいと思います。

### 渡り廊下ができるまで

見えなくなるところを作るのも建築のおもしろさ。最後に目かくしが取れて全体が見えたしゅん間は感動しますよ！



知ってほしい、より安心の制度。

法定外労災  
補償制度

## 建設共済保険

公益財団法人 建設業福祉共済団

制度が変わって、安心充実。今すぐ、ご加入を！

掛金負担  
が軽減

手厚い  
補償

労働者と  
企業のリスク  
をカバー

一般社団法人和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通丁北1丁目1-8  
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を！

